

NEW ヒライ信

VOL.2
NO. 82
(第182号)








がくしゅう 楽習塾 塾長 平井 たかお 幸雄

hiraisin@par.odn.ne.jp

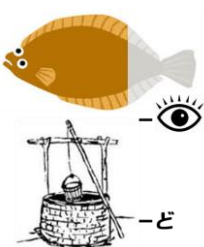



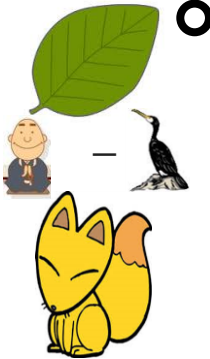
判じ絵 字 字が半分ではんじ + エイの上のみで え = はんじえ

「判じ絵」は目で見るとなぞなぞです。判じ絵には一定のパターンがあります。音読みと訓読みの“読み”の違いを活用し、しゃれを利かせ絵で読ませるもの。絵の一部が欠けていたり、消えている部分の音を省いて読ませるもの。絵が逆さまに描き、その絵の音を逆から読んだり、絵に濁点や半濁点を付けて読ませるもの。人間のような動物の擬人化、普段の生活では絶対に見られないような、突飛な状況の絵画化。また、絵だけではなく文字が記されるものもある。文字をそのまま読むのではなく、ひとひねりして読むものなど様々あります。

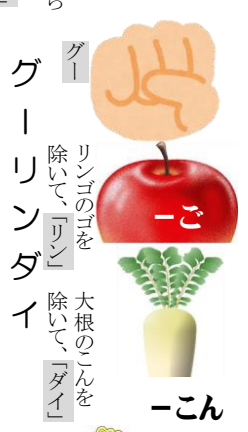
例えば、次のようなもの

				
台の上にコンと鳴く狐がいるので、ダイコン=大根	蚊「か」+髪に濁点がついて「がみ」+桃（もも）の上が消えているので「も」+蜂（はち）-歯（は）=「ち」でかがみもち	歯「は」+ねこ（猫）が逆さまの「こね」ではこね=箱根	頬「ほお」に蝶「ちよう」が止まっているのでほおちょう=包丁	歌舞伎役者の七代目市川團十郎が愛用した図柄鎌+〇（輪）+ぬで、かま・わ・ぬ「構わぬ」の意の判じ物

そこで、ヒライ流にいくつか判じ絵を創作してみた

				
ヒラメ - 目=ヒラ 井戸（イド）-ど=イ ヒラ+イ=ひらい	たい - い=た おかめ - 目=おか おかの逆さ=かお た+かお+山=高尾山	蜂（はち）の下に王子で はちおうじ=八王子	錠（ジョー）+草（クサ）+（ロンドンードン）= ロン ジョークサロン	葉（ハ）に半濁音=パ 僧（ソウ）- 烏（ウ）=ソ 狐の鳴き声=コン パソコン

じゅげむ 寿限無の判じ絵



く食うね寝るゝ処に



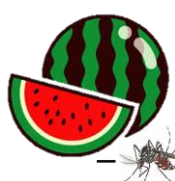
す住むゝ処



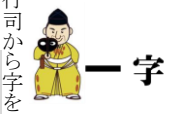
やぶ藪らゝ柑じ子の



海砂利水魚の



すい水 きょう行 まつ末



うん雲 らい菜 まつ末



ふう風 らい菜 まつ末



ここからスタート

じゅげむ 寿 げ 限 無



酒(しゅ)に濁点で「じゅ」



毛虫(けむし)から「し」を除いて、濁点をつけて「げむ」

じゅげむ 寿 げ 限 無



煙(けむり)に濁点で、「げむり」から「り」を除いて「げむ」

こ五 こう劫 の



すり擦り ちり切れ

